TOYAMA JC

Junior Chamber International TOYAMA

www.toyamajc.or.jp

2月度公開例会

行動をおこせ！

～成功も失敗も人生を彩るイベント～

講師 実業家・株式会社幻冬舎所属編集者 **箕輪 厚介 氏**

入場無料

先着300名

日時 2019年 **2月19日（火）** 19:00～20:20 受付 18:30～

会場 **ホテルグランテラス富山** 3階・薫風の間 住所：富山市桜橋通り2-28

www.toyamajc.or.jp

参加のお申込み・お問い合わせはこちら

TEL 076-433-3334

※席に限りがありますのでご着席いただけない場合もございます。
※人気講師の為、席に限りがありますので、富山 JC ホームページから公開例会参加の事前の登録をお願いします。
事前登録がない場合、入れない可能性があります。

JCI Junior Chamber International TOYAMA
公益社団法人 富山青年会議所

ミライのトヤマをつくる。
私たちは、このまちの未来のために「ひとづくり」に取り組んでいます。

２月度公開例会

行動をおこせ！

～成功も失敗も人生を彩るイベント～

入場無料

講師　箕輪（みのわ）　厚介（こうすけ）氏［実業家・株式会社幻冬舎所属編集者］

日時　2019年2月19日（火）
19:00～20:20（受付開始18:30）

会場　ホテルグランテラス富山
3階・薫風の間（住所：富山市桜橋通り2-28）

公益社団法人富山青年会議所では、定期的に公開例会という形式で一般の方々にもご参加いただけます講演会を開催しております。今回は、箕輪厚介氏をお招きし、『多動力』（堀江貴文）・『たった一人の熱狂』（見城徹）などを手がけた幻冬舎編集者でありながら、著書『死ぬこと以外かすり傷』でAmazonベストセラー総合１位を獲得され、自身で波の上商店（オンラインサロン・箕輪編集室）を運営し、従来の編集者の枠組みを超えて全方位的に活躍され、がむしゃらに活動される姿と、とにかく行動をおこせと訴える講師の講演から、参加する方々に、行動をおこすことの重要性について感じていただくために、ご講演いただきます。

箕輪 厚介（みのわこうすけ）

プロフィール

1985年、東京都生まれ。
早稲田大学第一文学部卒業後、沖縄県の瀬底ビーチリゾートに内定するも入社前に倒産。就職浪人を経て双葉社に入社。ファッション誌の広告営業として、商品開発やイベントなど幅広く仕掛ける。2013年にはネオヒルズ族とのタイアップ企画『ネオヒルズ・ジャパン』を創刊。発売日に与沢翼が書類送検されるも即完売。2014年から編集部に異動。『サッカー批評』の副編集長をやりながら、『たった一人の熱狂』見城徹（Amazonビジネス書ランキング１位）などを手掛ける。2015年には幻冬舎に入社し、堀江貴文さんの『多動力』、田端信太郎さんの『ブランド人になれ！会社の奴隷解放宣言』などヒット作を連発。著書『死ぬこと以外かすり傷』はAmazon総合ランキングで１位を獲得。その傍ら、会社員でありながら自身が運営するオンラインサロン（月額制の仕事場）・箕輪編集室はお金を払って仕事をするという体系のはずが、会員数1300人を超えるなど、箕輪さんの活躍の場は従来の「編集者」の枠組みを超え、全方位的に拡大している。

主な編集実績

● 双葉社
『ネオヒルズジャパン』与沢翼（2013/11/21）
『逆転の仕事論』堀江貴文（2015/5/20）
Amazonビジネス書ランキング1位
『悪意とこだわりの演出術』藤井健太郎（2016/8/17）

● 幻冬舎
『新企画』鈴木おさむ（2016/3/17）
『空気を読んではいけない』青木真也（2016/9/8）
『危険な二人』見城徹、松浦勝人（2017/4/11）
『多動力』堀江貴文（2017/5/27）
『組織の毒薬 サイバーエージェント副社長の社員にあてたコラム』日高裕介（2017/8/30）
『東大から刑務所へ』堀江貴文、井川意高（2017/9/23）

主な出演番組

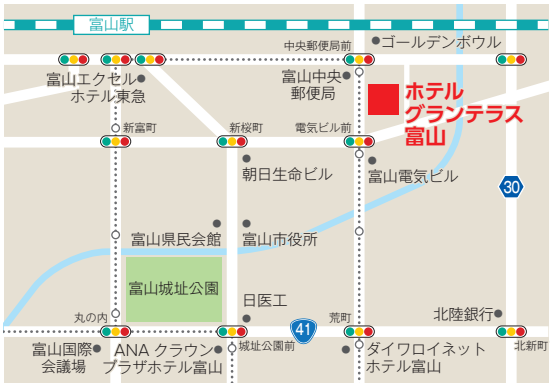
● 日本テレビ系ニュース番組「スッキリ」

主催　公益社団法人富山青年会議所
後援　富山市、立山町、上市町、舟橋村

お問い合わせ　公益社団法人富山青年会議所 事務局
電話：076-433-3334

２月公開例会の事前予約はこちらから
※内容には「２月例会参加」とご記入ください。

※人気講師の為、席に限りがありますので、富山JCホームページから公開例会参加の事前の登録をお願いします。事前登録がない場合、入れない可能性があります。



富山青年会議所（富山JC）は、このまちの未来を担う一員として4つの事業を柱として活動しています。

● “地域に貢献できる人材育成のために” ひとづくり
● “地域の活性化のために” まちづくり
● “とやまの未来を担う子どもたちのために” 次世代育成事業
● “多様性を受け入れ広い視野と感性を磨くために” 国際交流事業